

## 年末賞与(一時金)の決定状況 《最終集計》

- 本協会が実施した年末賞与(一時金)の決定状況調査(最終集計)では、報告のあった88社の支給額平均は47万5,106円で、前年に比べ8,737円(1.81%)下回り、3年ぶりのマイナスとなった。そのうち県内本社企業81社の平均支給額は46万5,233円(対前年8,219円、1.74%のマイナス)だった。県外企業7社では58万3,714円(同1,079円、0.18%のマイナス)だった。

【最終集計】平成28年年末一時金取組状況

業種	社数	支給率(ヶ月)	支給額(円)	前年比(%)
<b>製造業計</b>	<b>46</b>	<b>2.00</b>	<b>528,398</b>	-3.59
化学	13	2.34	664,242	-0.75
機械金属	8	1.93	522,519	-2.76
食品	2	2.40	556,997	1.23
繊維・染色	3	0.80	315,707	27.29
金属製品	5	1.67	474,220	0.69
木・紙・パルプ	4	1.62	369,927	-8.62
電気機器	4	2.02	469,781	-11.64
その他	7	1.64	547,976	-5.55
<b>非製造業計</b>	<b>42</b>	<b>1.80</b>	<b>413,615</b>	1.78
運輸・通信	11	1.86	372,934	-8.33
金融	3	2.03	—	-0.84
卸・小売	14	1.76	405,343	-4.03
土木・建設	7	1.76	469,164	6.80
その他	7	1.70	425,630	16.34
<b>全平均</b>	<b>88</b>	<b>1.90</b>	<b>475,106</b>	-1.81

規模	社数	支給率(ヶ月)	支給額(円)	前年比(%)
100人未満	38	1.63	418,530	-6.31
100人～199人	27	2.02	504,876	5.07
200人～499人	10	2.16	501,405	-1.67
500人以上	13	2.22	595,456	-5.53

※(前年度)は前年度の最終集計数値。

※「—」は支給額非公表につき、数値を伏せているが、平均値には含む。

・業種別にみると、製造業は前年に比べ1万9,683円(3.59%下回り、4年ぶりのマイナスとなった。電気機器が2ケタ減になったほか、機械金属もマイナスだった。昨年上半期(1～6月)の為替相場が前年同期に比べ9円ほど円高で推移したことが輸出関連企業の業績を押し下げたとみられる。

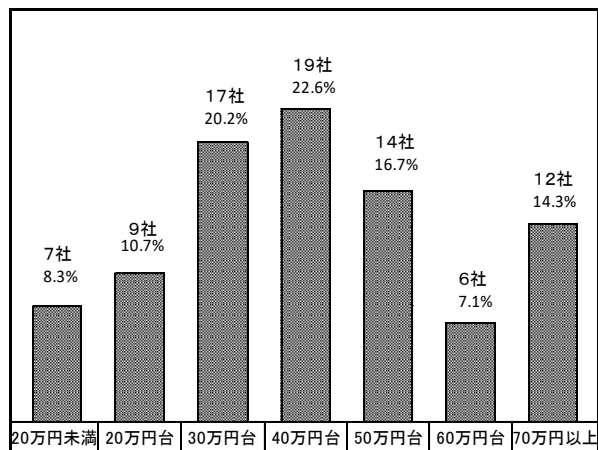
・非製造業は前年に比べ7,234円(1.78%)上回り、2年連続のプラスとなった。運輸・通信や卸・小売りはマイナスだったが、土木・建設と2桁プラスのその他サービス業がけん引し全体を引き上げた。

・規模別では、100～199人でプラスだったが、その他の区分はすべて前年を下回った。

・支給額の分布では、40万円台が19社(22.6%)と最も多く、次いで30万円台(17社、20.2%)、50万円台(14社、16.7%)と続いた。

・前年の支給額との増減をみると、前年を上回った企業が36社と全体の43.9%を占めた。下回ったのは23社(28.0%)、昨年と同額も同じく23社(28.0%)だった。

支給額の分布



増減率(対前年)の分布

